授業　熊野町立熊野東中学校

研修グループ　Ｃグループ

　廿日市市立阿品台中学校

　江田島市立大柿中学校

　府中町立府中中学校

　海田町立海田中学校

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **社会科** | **第２学年** | **熊野町立熊野東中学校** | **指導者** |

**「　欧米の進出と日本の開国　」**

**〜江戸幕府の滅亡～**

**単元名**

**統合性　未来像を予測して計画を立てる力　批判力**

**本単元で育成する資質・能力**

**単元について**

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編の歴史的分野の大項目「Ｃ　近現代の日本と世界」　中項目「(1)近代の日本と世界」では，19世紀ごろから20世紀前半までの我が国の歴史を扱い，我が国の近代の特色を，18世紀ごろからの世界の動きとの関連を踏まえて課題を追究したり解決したりする活動を通して学習することをねらいとしている。

この時期の我が国は，欧米諸国のアジアへの進出など複雑な国際情勢の中で開国し，急速な近代化を進めて近代国家の仕組みを整え，その後常にアジア諸国や欧米諸国との密接な関わりをもってきた。

特に，「産業革命」については，「工業化の進展と政治や社会の変化」という観点から，イギリスを中心に取り上げ，これを通して資本主義社会が成立したことや，労働問題・社会問題が発生したことに気づくことができるようにする。さらに，産業革命の進展に伴って，欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジア進出に着目させ，日本の政治や社会に与えた影響などを考察できるように内容を取り扱う。

以上のように，本単元での学習は今後のより発展的な内容につながる基礎づくりができるという点で重要な単元であるといえる。

**生徒の実態**

本校の第２学年の生徒（４学級145名）は，落ち着いて学習に取りくめる素直な生徒が多い。また，生徒たちは，授業におけるペア活動や班での話し合いなどに意欲的に参加している。

今年度本校第２学年の生徒を対象に実施した，学習・生活アンケート調査の結果は次の通りである。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 質問項目 | | 肯定的回答 |
| 【課題設定】 | 授業では，解決しようとする課題について，「なぜだろう」，「やってみたい」と思う。 | 75.4% |
| 【情報収集】 | 授業では，課題を解決するために，資料を集めて読み取ったり取材をしたりしている。 | 62.7% |
| 【整理分析】 | 授業では，情報を比べたり（比較），仲間分けしたり（分類），関係を見付けたり（関係付け）して，何が分かるのかを考えている。 | 73.8% |
| 【まとめ・創造・表現】 | 授業の中で，他の人に自分の考えたことを伝えている。 | 77.5% |
| 【実行】 | 授業で考えたり提案したりしたことについて，実際に取り組んでいる。 | 76.8% |

この結果から，令和元年度「基礎・基本」定着状況調査の同じ質問の結果と比較すると全て上回っているが，本校の学校教育目標にある課題発見解決学習の目標値である80%をどの項目も下回っている。特に，主体性をもって課題を発見し，それらの課題解決に関わっていこうとする態度を更に育成していくことが必要と考える。

**単元の指導**

単元を通して，江戸幕府や世界の国々の立場や意見を踏まえて選択・判断したりすることで，産業革命による日本での影響の諸課題に着目して問いを設定し，政治や経済，社会の特色を考察したりすることで，近代日本の社会の変化の理解に取り組ませる。

指導にあたっては，鉄道の開通や紡績工場，万国博覧会などの資料から当時の人々の生活の様子を読み取らせ，環境や経済，社会への影響を明らかにするとともに，今後の課題や生活への影響を他者に説明する活動を取り入れる。

また，欧米諸国のアジア進出と関連付け，工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して，幕府が対外政策を転換して開国したことと，その政治的及び社会的な影響を踏まえ，それが明治維新の動きを生み出したことに気付くことができるように他者に伝えたり，聞き取ったことをもとに比較・判断させる対話的な学習を通して，自分の考えを深めさせたい。

**単元の目標**

○　市民革命，産業革命などの影響を基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ，それらの影響によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識及び技能】

○　工業化の進展と政治や社会の変化，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【思考力，判断力，表現力等】

○　近代の日本と世界について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究することができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　【学びに向かう力，人間性等】

**単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ア　知識・技能 | イ　思考・判断・表現 | ウ　主体的に学習に  取り組む態度 |
| ①　欧米諸国における産業革命や市民革命，アジア諸国の動きなどを基に，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。  ②　欧米諸国のアジア諸国への対応をグラフや地図から読み取り，その影響を表やチャートなどで整理している。 | ①　工業化の進展と政治や社会の変化，近代化がもたらした文化への影響，経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，欧米における近代社会の成立とアジア諸国の変化の様子について，多面的・多角的に考察し，表現している。  ②　近代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。 | ①　近代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にさまざまな事象で見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |

**本質的な問い・単元を貫く問い・個別の問い**

　【本質的な問い】

|  |
| --- |
| 社会の変化や発展によって，人々は幸せになったのか。 |

　【単元を貫く問い】

|  |
| --- |
| （中項目）あなたは，近代（前半）の社会はどのように築かれ，人々の生活はどのように変容し，現代へとつながったと考えるか。  （小単元）革命や社会の変化によって人々の生活はどう変わったのか。 |

　【個別の問い】

|  |
| --- |
| ○産業革命により社会はどのように変わったのだろうか。  ○19世紀に発展したアメリカとロシアでは，人々はどんな生活をしていたのか。  ○中国とインドはなぜ植民地となったのか。  ○開国によって，日本はどう変わったのか。  ○人々が，ええじゃないかともりあがったのはなぜか。  ○江戸幕府の滅亡により，この時代の人々の生活はどのように変化したのか。 |

**指導と評価の計画**

Ｃ(1)「近代の日本と世界」（前半）の指導計画

（○…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 評価の観点 | | | 評価規準等 |
| 知 | 思 | 態 |
| 中項目の導入 | 【ねらい】近代（前半）の社会の変化の様子について，見通しをもって学習に取り組もうとし，課題を主体的に追究し，解決しようとしている。  中項目全体を貫く問い「あなたは，近代（前半）社会の基礎はどのように築かれ，どのように変容し，現代（または，近代（後半））へとつながったかと考えるか。」  導入の課題「教科書や資料集，小学校での学習体験やこれまでの学習を基に近代（前半）の日本を見通してみよう。」 |  |  |  |  |
| ・　教科書や資料集，これまでの学習や小学校での学習を踏まえて，中項目全体の単元を貫く問いについて考察し，ワークシートに記入する。 |  |  | ● | ●小学校での学習などを基に，中項目全体を貫く問いに対する学習の見通しを立て，学習を通して明らかにしようとしている |
| 小単元１ | １節　欧米の進出と日本の開国  （詳細については，以下を参照。） |  |  |  | 各小単元末において，次の評価を行う。  ・「知識・技能」「思考・判断・表現」については，「評定に用いる評価」を実施する。  ・「主体的に学習に取り組む態度」については，「学習評価につなげる評価」として，中項目全体との関わりを確認する評価を実施する。 |
| 小単元２・３ | ２節　明治維新　　　　　　　　　（略）  ３節　日清・日露戦争と近代産業　（略） |  |  |  |  |
| 中項目のまとめ | 【ねらい】  ・近代（前半）の日本を大観して，政治の展開，産業の発達，社会の変化の様子，文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目して，多面的・多角的に考察し，時代の特色を表現する。  ・次の中項目の学習への見通しを立てる。  ＜課題１＞  「近代の日本と世界」（前半）の学習を踏まえ，前の時代との共通点や相違点に着目して，近代（前半）社会の変化について自分の考えをまとめよう。」  ＜課題２＞  １）「作成したレポートと，単元のはじめに記した自分の『学習の見通し』を比べ，加わった点や新たに気付いた点のなどを振り返ってみよう」  ２）「近代（前半）の社会の変化の学習を振り返り，次の時代に大切になると思うキーワードをいくつかあげて，その理由を示してみよう」 |  |  |  |  |
| ＜課題１について＞  　中項目全体を貫く問いを確認し，小単元３までの学習を振り返り，前の時代と比較するなどして，近代（前半）の社会の特徴的な変化を選び，ワークシートなどにまとめる。  ＜課題２について＞  １）　当初の自己の学習の見通しと比較し，新たに加わった点や理解が深まったと考えられる点についてワークシートなどにまとめる。  ２）　次の時代につながると考えられる事柄をあげて，その理由を説明する。 |  | ○ | ○ | 〇近代（前半）の社会の変化の様子について，政治の展開，産業の発達，社会の様子，文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目し，比較したり関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し，獲得した知識を活用して学習を振り返る中で，時代の特色を文章や図などでまとめている。  〇この中項目における自身の学習の経緯について振り返り，学習の方法や留意点について自身の学びを確認，調整しようとしているとともに，推移や変化，影響などに着目して，近代（前半）の社会の変化の様子の中から，近代（後半）につながる動きをあげるなど，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 |

小単元１「欧米の進出と日本の開国」（全９時間）の単元計画（○…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 学習内容（時数） | 評　　　　　価 | | | | |
| 知 | 思 | 態 | 評価規準  （評価方法） | ICTの活用と評価  （◇:活用方法◆:評価方法） |
| 【ねらい】開国とその影響については，欧米諸国のアジア進出と関連付けて取り扱うようにし，幕府が対外政策を転換して開国したことと，その政治及び社会的な影響を踏まえ，それが明治維新の動きを生み出したことを説明している。  小単元の学習課題「革命や社会の変化によって庶民の生活はどのように変わったのか。」 | | | | | | |
| 一 | 課題の設定  ○　欧米諸国が，近代革命を通して近代国家を形成していった過程に気付く。 　　（1時間）  ・ 欧米諸国は，どのように発展していったのか。また，その背景にはどのような考え方があったのか捉える。  《発問》  市民革命により，社会はどのように変わったのか。  →中世の政治体制から近代国家へと変わった。 | ● |  |  | ア①  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を集める。  ◆集めた情報を根拠に，近代革命による近代国家の形成が分かりやすく伝わる情報を集めている。 |
| 二 | 課題の設定　情報の収集  ○　革命の時代を経て，近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解し，表現する。　　　（2時間）  ・ 産業革命は欧米諸国にどのような影響を与えたか捉える。  《発問》  産業革命により社会はどのように変わったのだろうか。  →政治：労働環境を巡る課題が増え，人の権利について考える人が増えた。  →経済：新たな工業製品や生活必需品などが国内に溢れ，生活水準が向上した。  →文化：鉄道が整備され，旅行をする人が増えた。  ・ 産業革命の結果，資本主義が広がり，社会が発展していったことを説明する。  《発問》  イギリス国民の生活は，このままで成り立っていくのだろうか。  →労働環境のことを考えるようになったことで，政治に参加する人が増えたので，成り立つ。  →新たな工業製品や工業原料の供給地を求めて国外への進出を強めたことで，ものが溢れすぎて，売れなくなり，成り立たない。 |  | ● | ● | イ①  （ワークシート）  ウ①  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を読み取る。  ◆集めた情報を根拠に，産業革命による経済成長と社会発展の様子が分かりやすく伝わる情報を読み取っている。  ◇教科書の内容を根拠にまとめた情報を，スライドやスプレッドシートを活用して意見交流する。  ◆根拠となる庶民生活に影響を与えた情報を，分かりやすく資料としてまとめている。 |
| 三 | 整理・分析  ○　ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程を理解する。　　　　　　　　　　　（1時間）  ・ ロシアとアメリカが急速に領土を拡大したことを読み取らせ，発展する過程を捉えさせる。  《発問》  19 世紀に発展したアメリカとロシアでは， 人々はどのような生活をしていたのか。  →資本主義の発展により，生産力が向上したが，労働問題が発生した。 | ● |  | **【公開する時間（本時）】**  　○太い線（1.5ｐｔ）で囲む。 | ア①  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を集める。  ◆集めた情報を根拠に，江戸時代の国際関係が分かりやすく伝わる情報を集めている。 |
| 四 | 整理・分析  ○　イギリスを中心とする欧米諸国が，工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジア侵略を進めた過程を理解する。　　　　（1時間）  ・ 16世紀から19世紀の間で，アジアはどのように変化したか捉える。  《発問》  中国とインドはなぜ侵略されたのか。  →産業革命によって大量生産された綿織物など を売りさばき，原料を安価に入手したかったから。 | ● |  |  | ア①  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を集める。  ◆集めた情報を根拠に，江戸時代の国際関係が分かりやすく伝わる情報を集めている。 |
| 五 | 整理・分析  ○　ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ，条約内容を理解する。  （1時間）  ・ 江戸幕府と欧米の関係を説明する。  《発問》  開国によって，日本はどう変わった。  →江戸幕府の支配力は低下し，欧米との貿易の 影響で日本の経済は打撃を受けた。物価の高 騰により，人々の生活は苦しくなり，欧米や幕府への不満が高まった。 | ● |  |  | ア②  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を集める。  ◆集めた情報を根拠に，開国による江戸時代の経済への影響が分かりやすく伝わる情報を集めている。 |
| 六 | 整理・分析  ○　開国したことで起こる国外からの影響を理解する。　　　　　　（1時間）  ・ 開国による日本の社会のへ影響を捉える。  《発問》  人々は，「ええじゃないか」と盛り上がったのはなぜか。  →不平等条約により庶民の生活が圧迫するな か，幕府の政策が変わらなかったから。 | ● |  |  | ア②  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を集める。  ◆集めた情報を根拠に，開国による江戸時代の社会への影響が分かりやすく伝わる情報を集めている。 |
| 七 | まとめ・創造・表現　振り返り  ○　開国による政治的・社会的な影響に触れ，倒幕の動きが広がっていく過程で起こる影響を表現する。　　　　　　　　　（2時間）  ・ 倒幕の動きと江戸幕府の対応，外国の動きなどを調べ，江戸幕府滅亡までの経緯をまとめる。  《発問》  江戸幕府の政策は，大政奉還後の社会に，どのような変化を与えたのか。  →政治：尊王攘夷運動によって，世の中が不安定になり，幕府体制が崩壊した。  →経済：日米修好通商条約によって，物価高などの生活苦が起こり，幕府への信頼が低下した。  →文化：開国によって，西洋の道具や技術が取り入れられ，幕府を倒す武器として使われた。  ・ 江戸幕府が滅亡しても解決していない問題は何かを庶民の視点で説明する。　　**〔本時〕**  《発問》  **江戸時代末期の政治や社会の動きから，庶民の生活に，どのような影響があったのか。**  →王政復古の大号令が宣言され，幕府から朝廷に新しく支配体制が変わったことで，貧富の差が縮まった。  →日米修好通商条約を結んだことで起こった物価高を抑えるための，十分な対策を取ることで，安定した生活が送れた。  ・　中項目全体を貫く問いとの関わりを確認する。 | ○ | ○ | ● | イ②  （ワークシート）  ア①  （ワークシート）  ウ  （ワークシート） | ◇教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を読み取る。  ◆集めた情報を根拠に，江戸時代の様子が分かりやすく伝わる情報を読み取っている。  ◇教科書の内容を根拠にまとめた情報を，スライドやスプレッドシートを活用して意見交流する。  ◆根拠となる庶民生活に影響を与えた情報を，分かりやすく資料としてまとめている。 |

**前時の学習（８/９時間）**

１　日　　　時　　令和４年1月12日（水）　　４校時

２　場　　　所　　第２学年４組

３　学年・学級　　第２学年４組　　36名　（男子18名　女子18名）

４　前時の展開

（１）前時の目標

・　工業化の進展と政治や社会の変化，近代化がもたらした文化への影響などに着目して，事象を相互に関連付け，近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。

（２）観点別評価規準

・　近代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。

【思考・判断・表現】

（３）前時の学習展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準  （◎評価方法） | ICTの活用  （〇:活用方法●:評価方法） |
| １　開国により，庶民はどのような状況であったか前時を振り返る。（３分）  ２　調べる視点を明確にし，問題を把握する。（１０分） | | | |
| ・「攘夷を実行した藩はあるのか。」を調べ，その結果を確認する。 | ○　学習への意欲を喚起させるために，前時で学習した内容を確認させる。 | 視点を明確にし，幕府派と倒幕派を比較できる人間関係図を作成させる。 |  |
| ３　学習課題を設定する。（２分） | | | |
| ・　江戸時代が終わった1867年には，何が起き，それは何が原因なのかを，まとめる。  前時のめあて  開国が，大政奉還後の社会にどのような変化を与えたのかを説明することができる。 | ○　幕末の状況をまとめさせる。  大政奉還とは何か。また，大政奉還を行ったのはなぜか。  さらに，その後社会はどのようになっていったか。 |  |  |
| ４　設定した学習課題を，政治・経済・文化（暮らし）の三側面で思考する。（１２分） | | | |
| ・　大政奉還前に江戸時代の社会を変化させた政策を調べる。 | 江戸幕府の政策は，大政奉還後の社会に，どのような変化を与えたのか。  ○　開国してからの政治・経済・文化に関連する政策や条約，出来事を，教科書で調べさせ，分けさせる。 |  |  |
| ５　学習課題は，江戸幕府にどのような変化を与えたのかを政治・経済・文化（暮らし）の三側面で考察したり，その根拠を予測したりして交流する。（２０分） | | | |
| ・　４の結果，大政奉還後，江戸幕府にどのような変化があったのかを自分なりの理由を考え，グループで考えをまとめる。 | ○　４の結果，江戸幕府に対する変化を考察し，まとめさせる。  （例）政治：尊王攘夷運動によって，世の中が不安定になり，幕府体制が崩壊した。  　　　経済：日米修好通商条約によって，物価高などの生活苦が起こり，幕府への信頼が低下した。  　　　文化：開国によって，西洋の道具や技術が取り入れられ，幕府を倒す武器として使われた。 | ◎大政奉還　後，江戸幕府にどのような変化があったか考察したり，その社会的事象が起こった優先順位を決めることができる。  （ワークシート） | ○教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を読み取る。  ●集めた情報を根拠に，江戸時代の様子が分かりやすく伝わる情報を読み取っている。 |
| ６　前時の学習をまとめる。（３分）  キーワードである「開国」と，江戸幕府の政策を関連付けて説明する。 | | | |  |
| ・　次時の授業について知る。 | ○　江戸時代の庶民の生活に，どのような変化があったのかを，まとめる。 |  |  |

**本時の学習（９/９時間）**

１　日　　　時　　令和４年1月14日（金）　　２校時

２　場　　　所　　第２学年４組

３　学年・学級　　第２学年４組　　36名　（男子18名　女子18名）

４　本時の展開

（１）本時の目標

・　近代の日本と世界について，見通しをもって学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究することができる。

（２）観点別評価規準

・　近代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

（３）本時の学習展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準  （評価方法） | ICTの活用  （〇:活用方法●:評価方法） |
| １　学習課題を再確認する。（２分） | | | |
| ・前時の内容を確認する。 | 本時のめあて  開国が，大政奉還後の社会にどのような変化を与えたのかを説明することができる。 |  |  |
| 2　学習課題を庶民の視点から予測し，根拠をもってまとめる。（８分） | | | |
| ・前時の内容を基に，個人で，庶民の生活への影響をまとめる。 | 江戸時代の庶民は，どのような生活をしていたのか。  ○江戸時代の百姓や町人が，どのような生活をしていたのか時期を個人で「鎖国」「開国」で調べ，比較させる。  江戸時代末期の政治や社会の動きから，庶民の生活に，どのような影響があったのか。  ○　比較した百姓や町人の生活からグループ内で，根拠をもって説明したり，意見交流したりすることで，予測させる。  （例）王政復古の大号令が宣言され，幕府から朝廷に新しく支配体制が変わったことで，貧富の差が縮まった。  （例）日米修好通商条約を結んだことで起こった物価高を抑えるための，十分な対策を取ることで，安定した生活が送れた。 |  | ○教科書の重要語句の意味を調べ，それらを基に，信頼性のある情報を読み取る。  ●集めた情報を根拠に，江戸時代の様子が分かりやすく伝わる情報を読み取っている。 |
| ３　予測した学習課題を可視化し，グループで伝える。（３０分） | | | |
| ・グループで庶民の生活にどのような影響があるか考察した意見をタブレットを活用して他者に伝える。 | ○新政府の改革を予測させる。 | ◎　近代国家を目指すことで起こる課題を捉えている。  （ワークシート） | ○教科書の内容を根拠にまとめた情報を，スライドやスプレッドシートを活用して意見交流する。  ●根拠となる庶民生活に影響を与えた情報を，分かりやすく資料としてまとめている。 |
| ４　本時の学習をまとめる。（１０分） | | | |
| ・評価テストをする。  小単元の課題  「革命や社会の変化によって庶民の生活はどのように変わったのか。」  【生徒の評価規準例】  　革命によって，欧米の人々は自由で平等に生きる権利を手に入れ，社会の発展によって豊かな生活を送ることができるようになった。  しかし，貧富の差が拡大するなど新たな課題も出てきた。また，発展した欧米が海外への進出を強めたため，政治が不安定になり，経済的にも外国との貿易により，物価が急速に上昇するなど欧米の影響が及び，長く続いた江戸幕府が滅ぶこととなり，新しい政府や社会の仕組みを求める動きが起きた。 |  |  |  |
| ・次時の授業について知る。 | ○　新政府は，近代国家を造るためにどのような改革を行ったのか確認する。 |  |  |

（４）板書計画（本時８・９/９時間）

